



樟風中学校だより The Kusunoki breeze

〒570-0034 大阪府守口市西郷通 3-14-60
Tel : 06-6992-7181 Fax : 06-6995-2537

令和2年度
4月・5月号合併号
守口市立樟風中学校
校長 千石 仮名江

はじめに

保護者の皆様におかれましては、コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月8日以降の臨時休業等に関しましてご理解を賜り、誠にありがとうございます。

この度、守口市教育委員会より連絡がありました通り、引き続き5月31日までの間につきましても臨時休業となりました。しかし生徒の心身の状況等に配慮する観点から、学年ごとに登校日等を設定することになり、生徒の健康観察および家庭学習状況を把握しながら、生徒の心身のケアを行いたいと思っております。

ようやく生徒たちの笑顔に会えると思うと大変うれしいことではありますが、手洗い、うがいの指導の徹底、登校時間の指定、教育活動の制限等、生徒たちにとっては今までとは違う多くの制約がある中での登校となります。教職員一同、生徒の様子を見ながら、必要な時はご家庭にもご連絡させていただきますので、もし、ご家庭でも気になることがありましたら、学級担任や学年担当教員等にご連絡ください。スクールカウンセラーも週1回ではありますが、本校に勤務いたしますので、ご活用ください。

また、健康観察カードへの記入など、保護者の皆様をお願いしなければならないこともあります。保護者の皆様とともに、生徒の健康を守りながら、学校再開後の教育活動を円滑に実施できるように準備を進めてまいりますので、今後ともご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

<樟風中の登校日の対応と生徒の皆さんへのお願い>

登校日を設定するにあたり、文部科学省や大阪府、守口市教育委員会より新型コロナウイルス感染症拡大防止のための留意点が示され、本校もその留意点に沿って登校日の対応を考えています。

1. 消毒について

- ・朝、前半登校組の担当教員が使用する教室のドアや窓を開け、ドアノブや電灯スイッチ、教室のカギなどを消毒します。(雨天時は、雨量を見て窓の開閉を行います。換気のための窓の開放を活動中1回は行います。)
- ・前半組、後半組が下校後、使用した机やイス、電灯スイッチ、ドアノブ等を担当教員が消毒します。また、使用できる階段手すりや、トイレのドアノブ等も教員が消毒します。



- ①教室、階段ではドアノブや電灯スイッチなど、共有部分にできるだけ触らないでください。
- ②1年生は北階段、2・3年生は南階段を使用してください。(東階段は使用しません。)
- ③1年生は体育館横のトイレ、2年生は2階東トイレ、3年生は3階東トイレを使用してください。
- ④皆さんが登校する前に消毒を行いますので、決められた登校時間より前には登校しないでください。(校舎内には入れません。)

2. 登校時について

- ・ピロティで健康観察カードを学級ごとに集め、その内容を確認します。
- ・教室へ入る前に、必ず手洗いするように指導します。



- ①毎朝必ず検温し、体温、体調を保護者と確認して健康観察カードに記入してください。発熱している人や風邪の症状がある人は自宅で休養してください。
- ②健康観察カードの点検後、「平熱で、症状なし」の人は下足室へ入り、手洗いをして決められた教室へ行ってください。「発熱している」と思われる人や「熱はないが、症状あり」に印がある人は保護者へ連絡し、その場で早退することもあります。
- ③健康観察カードを書いていない人やカードを忘れた人は武道場前へ行き、検温してカードに記入してからピロティへ行ってください。

- ④遅刻した場合は、職員室で健康観察カードを渡し、入室許可書をもって教室へ行ってください。ここでもカードを書き忘れていたりカードを忘れた人は検温をしたうえで教室へ行ってください。
- ⑤教室に入る前や共有物に触った後は、必ず手を洗ってください。ハンカチ等手をふくものを持参してください。

3. 活動等について

- ・1教室あたりに参集する生徒は10名～15名程度にし、教室内では、教員は生徒の最前列の机との距離を極力空けて立ち、生徒同士の距離も極力空けます。
- ・向かい合っただの話し合い活動は極力避けます。
- ・体育館でストレッチなどの簡単な運動を行う場合は、十分に換気し、生徒同士の間隔を十分に確保するなどに留意します。
- ・教員は常時マスクを着用します。



- ①学年を2分割し、登校時間をずらします。さらに1学級を3分割しますので、指定された教室に入り、担当教員から教室内の座席の指示がありますので、指示に従ってください。
- ②友達と会話をする際は、社会的距離（2m程度）をとり、マスクを着用してください。（原則、自宅を出る時から帰宅するまでのマスクの着用をお願いします。）
- ③活動中に体調が悪くなった場合は、我慢せず必ず近くの教員に伝えてください。
- ④ウォータークーラーは使用できません。水筒を持参しこまめに水分補給をしてください。
- ⑤活動後は速やかに下校し、帰宅後は手洗い、うがいを行ってください。
- ⑥メディアセンターを利用する人は、活動後10分程度開室しますので、利用してください。利用前後は手を洗うか、アルコール消毒をしてください。

4. その他



- ①生活リズムを整えることも大事！食事と睡眠をしっかりとり、適度な運動を行って免疫力をUP！してください。
- ②知らず知らずに手で口、鼻、眼に触っていることがあると思いますが、手洗いする前に顔を触るのは控えるようにしてください。
- ③特定の国や地域に対する偏見や、感染者や濃厚接触者とその家族、また、治療にあたる医療従事者とその家族等に対する偏見や差別は絶対に許されないことです。今こそお互いを思いやる気持ちが大切です。友達への心無い発言や新型コロナウイルス感染症ではないかとからかうようなことは絶対にやめてください。また、SNS等での不用意な発言にも注意しましょう。

<保護者の皆様へのお願い>

- ① 毎朝、お子様の検温、体調の確認をしていただき、健康観察カードにご記入をお願いいたします。お子様に発熱や健康観察カードに記載した症状がある場合は、自宅で休養するようにしてください。欠席の場合は、その旨をご連絡ください。
- ② 早退の場合にはご連絡いたしますので、緊急連絡先の変更等がありましたら担任までご連絡ください。
- ③ 引き続き不要不急の外出は避け、手洗い、うがい、咳エチケット等の感染予防にご留意ください。

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」(日本赤十字社)

日本赤十字社
New Red Cross Society of Japan

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～

新型コロナウイルス

1

新型コロナウイルスによる感染が流行しています。

ワタシには3つの顔があるふっふっふ…

実はこのウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。

知らず知らずのうちに私たちも影響を受けていることをみなさんにご存知ですか？

2

3つの“感染症”はつながっている

第1の“感染症”「病気」

第2の“感染症”「不安」

第3の“感染症”「差別」

ひとりひとりが気を付けないと、ワタシはこうやって力をつけていくよ…

3

ウイルスがもたらす第1の“感染症”は病気そのものです

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。

感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

4

ウイルスがもたらす第2の“感染症”は不安と恐れです

このウイルスは見えます。ワクチンや薬もまだ開発されていません。わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。

それらは私たちの心の中でふくらみ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。

5

ウイルスがもたらす第3の“感染症”は嫌悪・偏見・差別です

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。

そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人の信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

6

なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのか

見えない敵（ウイルス）への不安

特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする

嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることでつかの間の安心感が得られる

嫌悪している人、コロナかも

△△地区は危ない

××人だ、危ない

本当の敵を見なくなる

敵がすり替わってしまう

敵はウイルス

7

特定の“人・地域・職業”などに対して「危険」「ばい菌」といったレッテルを貼る心理によって差別や偏見は起こります。

差別の場が育っていくよ

〇〇病院は危ないらしい

××人だ、危ない

△△地区は危ない

感染している人、コロナかも

感染症患者の子は危険じゃないほしい

マスクしてないなんてありえない

生き延びようとする本能

特定の対象をウイルスと間違えつづける心理

感染への不安、恐れ

ウイルスを遠ざけたいという心理

8

3つの“感染症”はどうつながっているの？

負のスパイラルで“感染症”が拡がる

① 差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く

② 人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける

③ 未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる

第1の“感染症”「病気」

第2の“感染症”「不安」

第3の“感染症”「差別」

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで。

9

皆さんも、ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていたり、なにかとウイルスに結び付けて考えたりしていませんか？

「あの人が咳してる…コロナなんじゃない」「あの地域はコロナが流行っているからあそこ」のものを買うのはやめよう…」

「熱があるけど怖いから黙ってよう…」

このように思い、行動することから“感染症”は広がっていきます。

これらの“感染症”をふせぐために、私たちはどのような工夫ができるでしょうか？

10

第2の“感染症”に ふりまわされないために

不安や恐れは私たちの

気づく力

聴く力

自分を支える力

を弱めます。

不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちが力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。



第1の“感染症”を ふせぐために



1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

「手洗い」

「咳エチケット」

「人混みを避ける」

など、

ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。



第2の“感染症”にふりまわされないために 聴く力を高める

いつもの自分と違う所はありませんか？

・ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていませんか？

・なにかと感染症に結び付けて考えていませんか？

・趣味の時間や親しい人との交流が減っていませんか？

・生活習慣が乱れていませんか？

普段と変わらず続けられることはありますか？



第2の“感染症”にふりまわされないために 気づく力を高める

まずは自分を見つめてみましょう

・立ち止まって一息入れる。
(深呼吸、お茶を飲む)

・今の状況を整理してみる。

・自分自身をいろいろな角度から観察してみる。
(考え方、気持ち、ふるまいなど)



第3の“感染症”を ふせぐために

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。

・「確かな情報」を拡めましょう。

・差別的な言動に同調しないようにしましょう。



第2の“感染症”にふりまわされないために 自分を支える力を高める

自分の安全や健康のために必要なことを見極めて自ら選択してみましょう

・ウイルスに関する情報にさらされるのを制限し、距離を置く時間を作る。

・いつもの生活習慣やペースを保つ。

・心地よい環境を整える。

・今自分ができていることを認める。

・今の状況だからこそできることに取り組んでみる。

・安心できる相手とつながる。



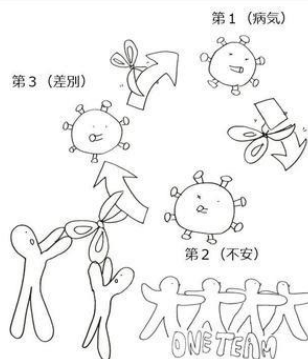
まとめ

3つの“感染症”をみんなで見守るために

このように、新型コロナウイルスは、3つの“感染症”という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。

それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう！



第3の“感染症”を ふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

・小さな子どもがいる家庭

・高齢者

・治療を受けている人とその家族

・自宅待機している人

・医療従事者

・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々を
ねぎらい、敬意を払いましょう。